

## 令和元年度第2回佐倉市産業振興推進会議 議事録(要録)

日時:令和2年1月30日(木) 13時30分～15時15分

会場:佐倉市役所 1号館3階 会議室

<b>出席委員</b>	野口委員長、福永委員、小川委員、緒方委員、岩淵委員、羽根井委員、坂口委員、山崎委員、坂本委員、三橋委員 (欠席:鈴木副委員長、市原委員)
<b>事務局</b>	(産業振興部)工藤理事、糸賀理事、二川部長 (産業振興課)鈴木課長、荒木副主幹、榎副主幹、塚田主任主事、利光副主幹、向後主任主事 (農政課)岩井課長、足谷主査
<b>傍聴</b>	1名

開会 事務局により開会

## 1 産業振興部長あいさつ

## 2 議題 (1)第2次佐倉市産業振興ビジョン(素案)について

## ① 第2次佐倉市産業振興ビジョン

事務局から資料1(ビジョン本文)、資料2(概要)に基づき、素案(商工業等、農業)の概要を説明

## &lt;質疑応答、意見&gt;

**A委員:**資料2「多様な人材の就労促進」について、外国人の活用について記載がない。→**事務局:**資料1の 21P に「～外国人等の多様な人材の重要性が高まっていることから、成田公共職業安定所、県、商工会議所等の関係機関と連携し～就労を支援します。」と記載しているが、資料2にも記載するよう対応する。→**事務局:**県では、外国人福祉人材の獲得・定着を目的とした施設(千葉県外国人介護人材支援センター)を立ち上げており、こうした県の取組と連携していきたい。福祉人材だけではなく、外国人材のマッチングのために有効な支援策などがあれば、ご教示いただければありがたい。→**A委員:**弊社にも外国人が35名おり、結構な比率になる。是非検討していただきたい。**A委員:**「新たな事業者の増加」について、誘致に対する支援など優遇制度などは盛り込まれているか。→**事務局:**佐倉市の企業誘致制度は、固定資産税・都市計画税相当額補助や、地元の方を雇用した場合、敷地内の緑化をした場合の補助メニューを用意している。**B委員:**素案は大変意欲的。ビジョン、方向性、調査分析やアンケートなど、上手くまとまっている。

以下、気になった点を数点挙げる。

- ・今の社会情勢では、空き店舗やシャッター通り対策は入れなければいけない。
- ・6次産業について、農業振興には記載があるが産業振興の方には無い。

- ・伝統工芸について、佐倉という土地に根付いた産業として、わずかでも触れられるといい。
- ・地域ブランドについては、市民が全体で作らないといけないもの。もう少し触れてもよいのでは。
- ・佐倉朝日健康マラソンは1万3000人が参加するイベント。名所を巡る取組など市役所が一体となってPRの場として使えないか。

→**事務局**: 空き店舗については、ビジョン31P「空き店舗を活用して出店する事業者に対して経費の一部を支援します。」等と記載している。

伝統工芸について、31P「本市で行われている伝統的工芸や技法等を保存するため～補助金による支援や産業まつり等での事業紹介等を行います。」と記載している。

佐倉のブランドについて、25P「『ふるさと名物応援宣言』に基づき～地域ブランド力の創出・向上を図ります。』と記載している。また、佐倉商工会議所の「佐倉 Y.M.O.プロジェクト」等が定着するように積極的に支援していきたい。

朝日健康マラソンについては重要なPR機会と認識している。31P「市外からの注目度が高いイベント(チューリップフェスタ、花火大会等)のホームページやチラシ等に市内店舗等の情報を掲載し、市外からの来店を促進します。」と記載しており、この中にマラソン大会を含んでいる。

→**事務局**: 6次産業化は主に農業を想定したもので、農産物の加工、販売というところで産業部門が関わってくる。33Pの「(1)差別化した農産物の生産推進」で、作ったものに付加価値を与える加工や、プロモーション、必要な機械の導入等において、産業界の取り組みが重要。

**A委員**: 4P 下段の『年齢階層別人口』について、年齢別の分布にすると急激に落ちるところがあるのではないかと。そういうところが見える資料になるといい。

→**事務局**: 年齢別の生産年齢人口の資料について、資料編で掲載したい。

**C委員**: 農地の基準価格の決め方はどのようになるか。貸借は地主との相対になる。ある程度指導があると参入しやすいのでは。

→**事務局**: 借りる場合の価格の標準等は、農業委員会のHPに掲載している。圃場の条件、形状や日当たり、傾斜、荒れているなど、条件によって価格に差が出る。一概にいくらとは申し上げにくいので、HPを参考にしていきたい。

**C委員**: 高齢者支援について具体的にどのような支援があるか。

→**事務局**: 22P「民間企業との連携により、高齢者対象の就業説明会を開催します。」、「千葉県ジョブサポートセンターや成田公共職業安定所等と連携し、セミナーや情報提供等を行います。」、23P「コラボサクラの活用」が該当している。

**D委員**: 「市内事業者が佐倉で活躍し続ける環境づくり」とあるが、既存事業者への支援はどのあたりで対応しているか。また、事業者への周知はどのように考えているか。

→**事務局**: 既存事業者への支援については、30P「(2)既存企業の新たな取組支援」等が該当している。また、事業者への支援制度周知については、商工会議所の各部会の総会等、事業者集まる場に出向いて時間をいただき、市の施策、国や県の施策をご説明したい。

**C委員:**商工会議所の商業部会で聞いてみると、補助金のメニューや申請手続き等がわからないことが多いようだ。情報提供は、各事業者まで届くように行うとともに、商工会議所のOBの活用など検討を行ってほしい。

→**事務局:**商工会議所等と協力・連携し、事業者支援制度を利用していただけるように周知を図りたい。

**E委員:**既存事業者だけではなく、新しくお店をやりたいという方にも情報が届くようお願いしたい。

→**事務局:**これから創業したい方についても、商工会議所に創業支援窓口を設置いただき、市の窓口でも、制度等の情報提供は行っており、専門家紹介等のサービスを周知したい。

→**E委員:**HPやSNSでの周知は検討しているか。

→**事務局:**コラボサクラと産業まつりについて、Facebookによる周知を行っているが、今後はもっと積極的に進めたい。

→**事務局:**支援策があるにも関わらず知られていないことが一番の問題。これまでの会議やヒアリングの中でも、「年度初めに包括的に説明してほしい」というご意見をいただいた。来年度の春には、きめ細かく、Facebookも活用しながら対応していきたい。

**F委員:**これからの農業は6次産業化が重要。一つ事例を紹介すると、親子でやっている農家さんで、元々ヤマトイモを中心にやっていたが落花生に切り替えた方がいる。落花生をさやごと甘く煮て、中の実だけを食べる。とても美味しい。農作物の加工や、ドローンを栽培に活かすなど、若い人は新しいことを取り入れている。

→**事務局:**落花生やドローンの事例についても、市で支援制度を持っている。水稻農家で薬剤散布用のドローンを市の補助で導入したという事例もある。農家さんの意見を聞きながら、ためになる支援をしていきたい。

## 2 議題 (1)第2次佐倉市産業振興ビジョン(素案)について

### ② 佐倉市観光ランドデザイン

事務局から資料3(ランドデザイン本文)資料4(概要)に基づき、素案の概要を説明

#### <質疑応答、意見>

**G委員:**観光客の滞在時間がとても短い。滞在時間を伸ばすために、体験型観光を定着させてはどうか。例えば、市民の森を活用した体験プログラムを作り、多くの方に来てもらえば、草ぶえの丘の売店やレストランを使用してもらえる。また、「マレットゴルフ」はゴルフより気軽に、子供からお年寄りまで楽しめる。そういったものを加えてはどうか。

→**事務局:**市民の森は、自然観察会等で活用されているが集客には繋がっていない。市民の森に来てもらうことで草ぶえの丘も知ってもらうことができ、集客にも繋がると思われるため、貴重な意見として承る。

→**事務局:**ランドデザインでは、「観光Wコア構想」で城下町は古民家を活用し、飲食や物販等の消費を強化する。また、滞在時間の延長を図るため、城下町とふるさと広場を繋ぐ多様なルートを整備する。また、多くの体験プログラムを造成していきたい。

→**事務局**:自然体験、農業体験等の体験プログラムを開発していく。また、市民の森や野鳥の森等、これまで活用されていなかった観光資源を活用していく。

**G委員**:武家屋敷の休館日の月曜日にボランティアとして整備を行っているが、意外とお客さんが来る。観光バスで来た人もいるほどで、「折角来たのに…」とお客様に言われてしまう。観光施設なので休館日を無くすことはできないか。

→**事務局**:休館日については、産業振興課だけで解決できる問題ではないため、関係者と連携し、一つずつ解決していきたい。

**H委員**:2つの核(城下町と印旛沼)の発想はとても良いが、アクセスが重要。民間との連携については、例えば、古民家活用は「民間に全部実施してもらおう」、「市がデザインして実施し、成功した上で民間に継承する」等の方法があると思うが、何か計画があるのか。また、合宿や企業の誘致とあるが、具体的な計画があるのか。

→**事務局**:2つの核のアクセスについては、27ページの取組3にあるとおり、「サイクリングロードの延伸(城下町まで)」、「砂利道の舗装」、「印旛沼周遊の船で繋ぐ」等、ルート整備に係る手法を検討したい。

古民家活用に係る民間との連携については、城下町地区における古民家活用が既に動き出している。民間の意見を聞くため、サウンディング調査を実施中。民間の知恵を借りながら、市で行う部分、民間で行う部分といった役割分担等も決めていきたい。合宿については、例えば、今年草ぶえの丘にできたシェアハウスや印旛沼サイクリングロードを活かした大学のサイクリング部の合宿誘致、宿泊とサンセットヒルズのテニスコート等を活かした企業研修の誘致を進める。

**H委員**:体験学習メニューは市が開発するのか。

→**事務局**:サムライ体験は観光協会が主催で実施している。春の桜のイベントは京成電鉄との連携で実施。民間活力を活用していきたい。

**A委員**:「ICTの活用」とあるが、市内観光施設にはWi-Fi等のインフラが必要ではないか。

→**事務局**:数年前に、市内の主要な観光施設13か所にWi-Fiを入れている。使い勝手に関しては改良の余地があるため、改善していきたい。

**C委員**:ランドデザインは素晴らしいが、これをどう実現するか。短期、中期、長期の視点で動くことが必要。賑わいと経済性が伴えば、出店者が増え、お店が開く。例えば、古民家に関しては、民間に提案してみてもどうか。民間の知恵と経済力が入れれば一遍に変わる。とにかく、実現する努力をしていただきたい。

全国で人気の観光スポット(行ってみたい街)として、県内ではディズニーランド、アンデルセン公園、成田山の3つが選ばれているが、佐倉は選ばれていない。佐倉には歴史と文化があるが、自己満足になっている。市に提案しても反応がないか、佐倉のことを良く考えている地元の方と連携して新しいものを作っていく必要がある。第2ラウンドとして星野リゾートとの連携も検討してはどうか。

コラボサクラに入居している企業が作っている、佐倉をモチーフとした地域RPGは良い取組だと思う。城下町を「サムライのまち」としてPRすれば、若い人にも受け入れやすい。ひよどり坂と併せて成田空港に大きなポスターを貼ったりすれば、外国人観光客へのアピールにもなる。

→**事務局**:委員ご指摘のとおり、地元との連携は大切にしていきたい。また40ページの施策3にあるとおり、観光協会、会議所、地元等と今まで以上に連携強化していく。RPGは3月にPR始める。市としてもバックアップしたい。

**B委員**:日本遺産の活用について。新聞で専門家が選ぶ日本遺産で「北総四都市江戸紀行」が4位になっていた。DMOを作るのも1つの手法。佐倉がリーダーシップをとって進めてほしい。

→**事務局**:日本遺産の活用については32ページで記載している。また、教育旅行にも利用していきたい。

**B委員**:高橋真琴さんやモンキーパンチさんなど、漫画やアニメの活用が入っていない。アイデアとして活かしてほしい。

→**事務局**:漫画やアニメの活用については、36ページ取組46の「聖地巡礼の促進」にあるとおり、漫画やアニメ、RPGを活用していく。

**事務局**:我々としてやるべきことは全て盛り込んだので、あとはスピード感を持ってしっかりやるだけ。行政だけでは実現できないので、事業者や市民と協働して行っていく必要がある。ご協力をお願いしたい。

**I委員**:補助金関係の記載が多数あったが、中央会はモノづくり補助金の事務局となっている。事業者には使いやすいと思われる。市や商工会議所と連携しながら説明会を開き、申請書類作成のポイント等を伝えていきたい。

**委員長**:本日いただいた皆様からのご意見を、産業振興ビジョン、観光ランドデザインに反映させることでよろしいか。

→全員賛成

#### 4. その他(連絡事項等)

**事務局**:本日のご意見及び市庁内からの意見をとりまとめ、今の素案を修正し、政策調整会議を経て市としての案を確定する。2月の下旬からパブリックコメントを実施し、3月中に決定という流れになる。パブリックコメントの段階で、各委員に修正した資料をお送りさせていただく。

**閉会**